

戦争はいやだ

古堅南小学校四年 玉城 くらら

私たち家族は、いれいの日が近づくと、おじいちゃん家でウートートーをします。

私は二度と戦争が起きない平和な暮らしがいつまでも続きますようにと、手を合わせて願っています。

私のおじいちゃんは、このおそろしい戦争でなくなつたそうです。

おじいちゃんは14才の中ニから、そしておばあちゃんはお才の小二から戦争を体験したというのを聞いてびっくりしました。

戦争中の生活は食べ物もなくがなたわむりやアリなどを食べていたそうです。

最初は、「うゑ、気持ち悪い」と思っていました。が、いつ死ぬかも分からないまよふと空腹で一日、一日を過ごしたそうです。

ぼくだんからも逃げまわり、人間らしく生きることもできなかつたそうです。

戦争を体験していない私達には、戦争の本

当の怖さを知りません。

戦争で勝ったとしても、多くの人の命をうばったのにどうしてこんなによるこぶの？  
何のつみもない、悪いこともしていないのに。

戦争は どうして 起きるのか。

私はある新聞を手に取りました。そこには  
幼い子どもがやけどをしていて服もボロボロ  
で、もうかわいそうで、こわくて思わぬペ  
ジを閉じていました。

どうしてまだ、幼い子どもが

これがもし私だったら・・・  
そんなことを考えるだけで、こわくなってきた。  
いったん深呼吸をして、またページを開  
きました。

ページを開くと、沖縄戦では20万人余りの  
人がなくなったと書いてあり、とてもおどろ  
きました。

私は読み進めていくうちに、心がどんどん  
いたくなり、こわくて足や手がふるえました。

戦争というものは、人間と人間が戦って、  
家族をうしなったり、命をなくす。とてもお  
そろしいものです。

どうしてこんなことになるのか。

日本が悪いのか。

それとも日本の争っている国が悪いのか。  
あなたはどちらだと思えますか。

今の生活は平和で幸せだなーと思えます。  
でも、今、本当に幸せ？ 平和なのか。

今でも戦争をしている国はまだあります。

平和というものは、家族がいる、友達がい  
る、学校がある、食べ物がある、といっぱい  
あります。

今、この平和な時代に生まれてきて、本当  
にありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。  
二度と戦争を起こさないためには、相手の  
気持ちやいやかっている気持ちを考え、おた  
がいがゆずり合ったり、認めることができずな  
を深め合うことだと思います。

私は、今の平和な世界で生まれてきて良か

った。

そして、戦争はぜったいにイヤだ。